

# GINGA REPORT 401

No.70  
2021.03

そらんぼ四日市 検索

発行日：令和3年3月1日  
編集&発行：四日市市立博物館・プラネタリウム  
電話：059-355-2700

## 3月の星空

星図：ステラナビゲータ9/(株)アストロアーツ

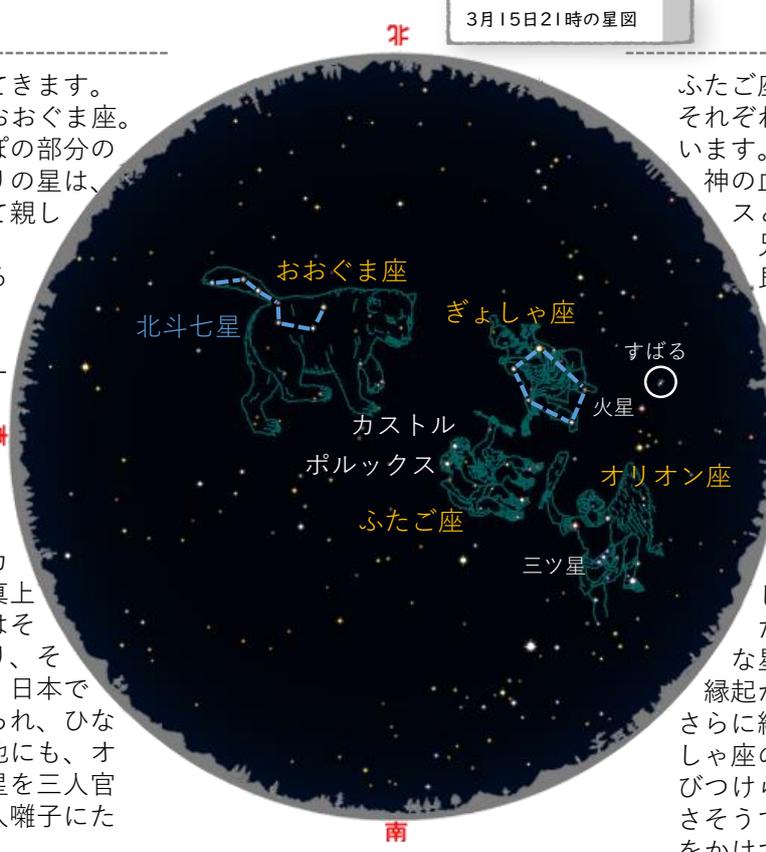
### 北斗七星

東からは春の足音が聞こえてきます。のそのそと昇ってきたのはおおぐま座。大きな身体に反して、しっぽの部分の星が目立ちます。このあたりの星は、古くから「北斗七星」として親しまれていました。

北斗七星は、北の空にあるひしゃく(斗)の形をした、七つの星という意味です。英語圏でもビッグ・ディパー(大きなひしゃく)と呼ばれています。

### ひなまつり星

3月上旬には、ふたご座のカストルとポルックスが頭の真上で輝きます。この二つの星はそれぞれ銀色と金色をしており、その色の対照的な美しさから、日本ではお雛様とお内裏様に例えられ、ひなまつり星と呼ばれました。他にも、オリオンのベルト部分の三ツ星を三人官女、ぎょしゃ座の五角を五人囃子にたとえる人もいるんだとか。



3月15日21時の星図

### ふたご座

ふたご座のカストルとポルックスは、それぞれふたごの兄弟の名前を示しています。人間の血を引いた兄カストル、神の血を引いた不死身の弟ポルックスと、星の見た目どおり対照的な兄弟でした。二人は非常に仲が良く、戦争でカストルが亡くなったときには、ポルックスがその不死身を分け与えたと言います。そのため、一日の半分は地下に隠れ、残り半分は天上で輝いているのだそうです。

ふたご座の二人は、船乗りの守護神でもあります。苦難に満ちた船旅を見守る存在として位置づけられたのです。新たな生活の船出の時期に、そんな星座が見られるのは、なかなか縁起が良い感じがしないでしょうか。さらに縁起が良い星というと、ぎょしゃ座の五角形はごかく=合格とも結びつけられ、験を担ぐにはちょうど良さそうです。ラッキーな星たちに願いをかけてみるのはどうでしょう。

## 3月のガリレオ教室

### 重力ってナニ？

淡い春の空には、とても不思議な天体「ブラックホール」が隠れています。宇宙を支配する重力について、ブラックホールから学んでみましょう。

日時：3月14日(日)  
① 11:00~11:20  
② 14:00~14:20

場所：5階 コズミックラウンジ  
料金：無料  
定員：14名



## 今月の天文トピック

### 億の星みちってどんな意味？

※番組詳細はHPをご覧ください。

3月13日(土)から、新しい夜間特別番組「億の星みち 季節★トコロ変ワレバ...」がスタートします。このタイトルには、「当館の“1億4千万個の星空”を楽しんでいただきたい」「遠くに出かけることが難しくなってしまった今、プラネタリウムで旅に出た気分を味わっていただきたい」という思いが込められています。

遠く離れた地域を見る上で注目して欲しいのは、日本の美しい四季折々の景色との違いとその理由です。いつもとは違った視点で星空を眺め、日々の生活に新しい発見をしてみませんか。



## スターウォッチング

### 博物館主催きさら号観望会

日時：3月27日(土) 19:00~20:30  
場所：博物館前市民公園  
内容：月と火星を見よう



## 編集後記

火星が冬の星々の間を行進していきます。3月上旬には、すばると接近。青白いすばると赤い火星のコントラストに、目を奪われるはず。惑星の動きを毎日目で追っていると、その速さに驚かされます。地球との位置関係で、惑うように空を動きまわる惑星たち。星空というと永久不変のように思われますが、毎日少しずつその姿を変えているのです。

惑星の動きを毎日目で追っていると、その速さに驚かされます。地球との位置関係で、惑うように空を動きまわる惑星たち。星空というと永久不変のように思われますが、毎日少しずつその姿を変えているのです。

## 3月の月

- 6日  下弦
- 13日  新月
- 21日  上弦
- 29日  満月

※天候不良時は中止です。  
※当日受付・参加無料です。  
※マスク着用、手指消毒、観望会受付票の記入をお願いいたします。